R16: ブラウザーテスト

Release 1.1

作成日	11/6/2026
完了済み	いいえ

OK	ブロック	未実施	再テスト	NG
48% (110/228)	5% (12/228)	36% (82/228)	5% (12/228)	5% (12/228)

テスト ケース

前提条件 1

T3576: プラットフォームに依存しないグラフィックファイルでクリップボードの履歴を確認する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	マニュアル記載	中	5 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1	プロジェクト選択画面：Demoを開く。	画面がエラーなく表示される。
2	文書選択画面へ遷移する。	遷移に2秒以上かからないことを確認する。
3	「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する。	選択するバージョンがグレーアウトしていないことを確認する。

結果

OK 中村 11/8/2026 10:50 AM 経過期間	正常に動作することを確認。

15分

OK

佐藤
11/8/2026 4:10 AM

担当者
鈴木

経過期間
10分

正常に動作することを確認。

ソフトウェアとバージョン 1

T3579: 同封のテストデータファイルでCSVインポートを確認する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	マニュアル記載	低	5 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1. テスト用文書を開く。
2. テスト対象機能のダイアログを表示し、メニューからデータのエクスポートを行う。
3. エクスポートされたデータが正しい情報かを確認する。

期待する結果

以下の基準を満たすこと。**チェックリスト参照！**

- テスト対象ブラウザーのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと
- 言語設定に準じた言語でメニューが表示されること
- ユーザー個別レイアウトが読み込まれること
- 新規ユーザーにおいてデフォルト設定の画面が崩れずに表示されること

上記の基準を満たさなかった項目はテスト結果にてコメントを残すこと

結果

OK

田中
11/9/2026 4:20 AM

経過期間

正常に動作することを確認。

11分

再テスト

山本
11/8/2026 5:17 AM

担当者
佐藤

テストデータを入れ替えて再試験が必要。

ハードウェア 2

T3589: 文書の履歴と属性を印刷する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
ブロック	互換性	中	15 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

旧バージョンの出力用テストデータを準備する。

手順

1. プロジェクト選択画面：Documentを開く
2. 文書選択画面へ遷移する
3. 「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する
4. 差分レポートを出力し、HTMLを選択する
   警告ダイアログが表示された場合は「はい」を選択

期待する結果

差分出力が正しく出力され、表示できること。

結果

ブロック

伊藤
11/6/2026 2:07 PM

経過期間
5分

機能実行が完了するまでテストは保留。

T3592: 最小解像度システムで全画面読み取りをテストする

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
NG	マニュアル記載	中	6 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1	プロジェクト選択画面：Demoを開く。	画面がエラーなく表示される。
2	文書選択画面へ遷移する。	遷移に2秒以上かからないことを確認する。
3	「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する。	選択するバージョンがグレーアウトしていないことを確認する。

結果

NG

中村
11/8/2026 3:50 PM

担当者
吉田

正しく表示されない。
前バージョンのテストの際から動作が変わっている可能性あり。

インストール 1

T3603: 組み込みスタイルのフォーマット表

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
NG	基本動作	致命的	14 分
参照	**自動化種別**		
36	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

1つ前のバージョンのマニュアルを用意する。
それ以外の準備物は C27 を参照。

手順

1. プロジェクト選択画面にてプロジェクトを選択せずに「OK」ボタンを押す。
2. 警告ダイアログが表示されるため「はい」を選択する。

期待する結果

差分出力が正しく出力され、表示できること。

結果

NG

吉田
11/6/2026 10:46 PM

経過期間
12分
欠陥
3260

画面上のテーブル表示が崩れ、以下の問題が発生。

- セルの中身が重なって見える
- 列の幅が不均一でずれている
- ヘッダーとデータの対応が分かりにくくなっている

名前	年齢	住所
山田太郎	30	東京都新宿区
鈴木花子	25	大阪府大阪市
佐藤次郎	40	愛知県名古屋市

更新情報 3

T3610: 同封のテストデータファイルでCSVインポートを確認する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
未実施	マニュアル記載	致命的	なし
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

チャーター

対象：プロジェクト登録機能
利用するもの：最新版のドキュメント

ゴール

結果として下記を残すこと。

- テストの実施時間
- テスト中の気付き

- テスト中に遭遇した課題
- バグ(候補)の個数
- バグと思われる挙動の詳細

結果

コメント	テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。
田中 11/8/2026 8:37 AM 経過期間 6分	

T3614: アドインのインストールをテストし、メニューの外観を確認する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
NG	セキュリティ	低	なし
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

プロジェクトにテスト用データをインポートしておくこと。データの種類は任意で構わない。

手順

プロジェクトの設定

- メニューからプロジェクト作成を行う
- 設定メニューから、プロジェクトの変更モードをOFFにして保存する。

テスト実施

1. テスト対象のプロジェクトを開く
2. プロジェクト内のテスト対象ドキュメントを開く。
3. プロジェクトの設定通り変更ができないことを確認する。

補足

- この際の画面設定は以下を想定。

```
.pieChart .legendContainer {
    float:left;
    width: 200px;
    height: 180px;
    margin-right: 60px;
}
```

期待する結果

以下の基準を満たすこと。 **チェックリスト参照！**

- テスト対象ブラウザーのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと
- 言語設定に準じた言語でメニューが表示されること
- ユーザー個別レイアウトが読み込まれること
- 新規ユーザーにおいてデフォルト設定の画面が崩れずに表示されること

上記の基準を満たさなかった項目はテスト結果にてコメントを残すこと

結果

NG 佐藤 11/7/2026 1:13 AM	正しく表示されない。 前バージョンのテストの際から動作が変わっている可能性あり。

T3616: システムファイルダイアログとの相互運用性を検証する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	パフォーマンス	致命的	1 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

パフォーマンス計測用マシン（要予約）それ以外の準備物は C31 を参照。

手順

1. プロジェクト選択画面：Performanceを開く
2. 耐久テスト用テストデータを選択する
3. 画面表示が正しく行われるかを確認する

期待する結果

- 過去の耐久テスト結果と比較し、誤差範囲(5%) 以内であること。
- 誤差範囲を超える場合は開発担当者へ確認を依頼。

結果

OK 加藤 11/6/2026 4:53 PM 経過期間 14分 欠陥 13	正常に動作することを確認。

チュートリアル 1

T3628: 文書タイトル付きの文書ヘッダーを追加する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
ブロック	マニュアル記載	低	8 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1. テスト用文書を開く。
2. テスト対象機能のダイアログを表示し、メニューからデータのエクスポートを行う。
3. エクスポートされたデータが正しい情報かを確認する。

期待する結果

以下の基準を満たすこと。**チェックリスト参照！**

- テスト対象ブラウザーのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと
- 言語設定に準じた言語でメニューが表示されること
- ユーザー個別レイアウトが読み込まれること
- 新規ユーザーにおいてデフォルト設定の画面が崩れずに表示されること

上記の基準を満たさなかった項目はテスト結果にてコメントを残すこと

結果

コメント

渡辺
11/8/2026 6:03 PM

経過期間
8分

テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。

ブロック

渡辺
11/8/2026 6:07 AM

担当者
佐藤

経過期間
8分

機能実行が完了するまでテストは保留。

メトリクス 1

T3643: 組み込みテーマを文書に適用して印刷出力を検証する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
ブロック	マニュアル記載	中	1 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1	プロジェクト選択画面：Demoを開く。	画面がエラーなく表示される。
2	文書選択画面へ遷移する。	遷移に2秒以上かからないことを確認する。
3	「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する。	選択するバージョンがグレーアウトしていないことを確認する。

結果

ブロック

鈴木
11/9/2026 12:43 AM

機能実行が完了するまでテストは保留。

OK

渡辺
11/6/2026 3:30 PM

経過期間
12分
欠陥
41

正常に動作することを確認。

OK

渡辺
11/6/2026 6:53 AM

正常に動作することを確認。

ログイン&アカウント 1

T3655: 通貨が異なる複雑なテーブルにソートルーチンを適用する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
再テスト	耐久	中	1 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

自動化テスト用のマシンが必要。それ以外の準備物は C40 を参照。

手順

1. プロジェクト選択画面：Enduranceを開く
2. パフォーマンステスト用テストデータを選択する
3. 画面表示が正しく行われるかを確認する

期待する結果

- 過去のパフォーマンス測定結果と比較し、誤差範囲(5%) 以内であること。
- 誤差範囲を超える場合は開発担当者へ確認を依頼。

結果

再テスト

伊藤
11/8/2026 8:33 PM

担当者
中村

経過期間
7分

テストデータを入れ替えて再試験が必要。

パスワード再設定 1

T3663: マルチモニターシステムでWindowsのすべての機能を整理する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	マニュアル記載	中	なし
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1	プロジェクト選択画面：Demoを開く。	画面がエラーなく表示される。
2	文書選択画面へ遷移する。	遷移に2秒以上かからないことを確認する。
3	「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する。	選択するバージョンがグレーアウトしていないことを確認する。

結果

OK

小林
11/9/2026 4:03 AM

経過期間
1分

正常に動作することを確認。

担当者

佐藤
11/8/2026 5:00 AM

担当者
中村

経過期間
5分

テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。

コメント

伊藤
11/6/2026 3:50 AM

テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。

機能1 1

T3671: 文書タイトル付きの文書ヘッダーを追加する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
未実施	機能	中	15 分
参照	**自動化種別**		
40	None		

テスト ケース ラベル

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。
それ以外の準備物は C9 を参照。

手順

1. プロジェクト選択画面：Warningを開く
2. テスト対象機能を開く
3. 出力、HTMLを選択する
   警告ダイアログが表示された場合は「はい」を選択

期待する結果

問題なく画面が表示されること

結果

まだテスト結果またはコメントがありません。

機能2 2

T3685: 複数ページの文書でインクリメンタル検索をテストする

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
NG	パフォーマンス	低	なし
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

パフォーマンス計測用マシン（要予約）それ以外の準備物は C31 を参照。

手順

1. プロジェクト選択画面：Performanceを開く
2. 耐久テスト用テストデータを選択する
3. 画面表示が正しく行われるかを確認する

期待する結果

- 過去の耐久テスト結果と比較し、 **誤差範囲(5%)** 以内であること。
- 誤差範囲を超える場合は開発担当者へ確認を依頼。

結果

NG	テーブルのヘッダーが崩れる

吉田
11/6/2026 10:52 PM

欠陥
3261

名前	年齢	住所
山田太郎	30	東京都新宿区
鈴木花子	25	大阪府大阪市
佐藤次郎	40	愛知県名古屋市

T3687: 複数ページの文書でインクリメンタル検索をテストする

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	マニュアル記載	中	4 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1	プロジェクト選択画面：Demoを開く。	画面がエラーなく表示される。
2	文書選択画面へ遷移する。	遷移に2秒以上かからないことを確認する。
3	「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する。	選択するバージョンがグレーアウトしていないことを確認する。

結果

OK

田中
11/7/2026 11:47 AM

担当者
加藤

経過期間
4分

正常に動作することを確認。

OK

正常に動作することを確認。

高橋
11/6/2026 9:53 PM

担当者
高橋
経過期間
5分

機能3 1

T3693: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
ブロック	マニュアル記載	中	3 分
参照	**自動化種別**		
18	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1	プロジェクト選択画面：Demoを開く。	画面がエラーなく表示される。
2	文書選択画面へ遷移する。	遷移に2秒以上かからないことを確認する。
3	「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する。	選択するバージョンがグレーアウトしていないことを確認する。

結果

担当者

山本
11/9/2026 9:03 AM

担当者
吉田
経過期間
6分

テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。

ブロック

機能実行が完了するまでテストは保留。

佐藤
11/6/2026 12:47 AM

経過期間
9分

機能4 1

T3699: テストメニューのキーボードバインディングとショートカット

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
未実施	機能	低	なし
参照	**自動化種別**		
48	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。
それ以外の準備物は C9 を参照。

手順

1. プロジェクト選択画面：Warningを開く
2. テスト対象機能を開く
3. 出力、HTMLを選択する
   警告ダイアログが表示された場合は「はい」を選択

期待する結果

問題なく画面が表示されること

結果

まだテスト結果またはコメントがありません。

管理 2

T3720: 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
ブロック	マニュアル記載	中	13 分
参照	**自動化種別**		
41	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1	プロジェクト選択画面：Demoを開く。	画面がエラーなく表示される。
2	文書選択画面へ遷移する。	遷移に2秒以上かからないことを確認する。
3	「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する。	選択するバージョンがグレーアウトしていないことを確認する。

結果

ブロック

佐藤
11/9/2026 8:30 AM

経過期間
6分

機能実行が完了するまでテストは保留。

OK

中村
11/6/2026 10:13 AM

担当者
高橋

正常に動作することを確認。

T3724: インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
未実施	互換性	中	13 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

旧バージョンの出力用テストデータを準備する。

手順

1. プロジェクト選択画面：Documentを開く
2. 文書選択画面へ遷移する
3. 「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する
4. 差分レポートを出力し、HTMLを選択する
   警告ダイアログが表示された場合は「はい」を選択

期待する結果

差分出力が正しく出力され、表示できること。

結果

コメント	テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。
鈴木 11/9/2026 9:20 AM	

プロジェクト 1

T3729: システムファイルダイアログとの相互運用性を検証する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
未実施	マニュアル記載	致命的	2 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

チャーター

対象：プロジェクト登録機能
利用するもの：最新版のドキュメント

ゴール

結果として下記を残すこと。

- テストの実施時間
- テスト中の気付き
- テスト中に遭遇した課題
- バグ(候補)の個数
- バグと思われる挙動の詳細

結果

まだテスト結果またはコメントがありません。

設定 2

T3746: システムファイルダイアログとの相互運用性を検証する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	マニュアル記載	致命的	なし
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

チャーター

対象：プロジェクト登録機能
利用するもの：最新版のドキュメント

ゴール

結果として下記を残すこと。

- テストの実施時間
- テスト中の気付き
- テスト中に遭遇した課題
- バグ(候補)の個数
- バグと思われる挙動の詳細

結果

OK

山本
11/7/2026 4:17 AM

担当者
山本

正常に動作することを確認。

コメント

伊藤
11/7/2026 3:27 AM

経過期間
14分

テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。

T3750: アドインのインストールをテストし、メニューの外観を確認する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	基本動作	低	11 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

1つ前のバージョンのマニュアルを用意する。
それ以外の準備物は C27 を参照。

手順

1. プロジェクト選択画面にてプロジェクトを選択せずに「OK」ボタンを押す。
2. 警告ダイアログが表示されるため「はい」を選択する。

期待する結果

差分出力が正しく出力され、表示できること。

結果

OK 田中 11/8/2026 11:20 PM 経過期間 4分	正常に動作することを確認。
OK 渡辺 11/6/2026 6:50 PM 経過期間 4分	正常に動作することを確認。

ユーザーと役割 1

T3760: 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	マニュアル記載	低	1 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

1. テスト用文書を開く。
2. テスト対象機能のダイアログを表示し、メニューからデータのエクスポートを行う。

3. エクスポートされたデータが正しい情報かを確認する。

期待する結果

以下の基準を満たすこと。**チェックリスト参照！**

- テスト対象ブラウザーのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと
- 言語設定に準じた言語でメニューが表示されること
- ユーザー個別レイアウトが読み込まれること
- 新規ユーザーにおいてデフォルト設定の画面が崩れずに表示されること

上記の基準を満たさなかった項目はテスト結果にてコメントを残すこと

結果

コメント 高橋 11/8/2026 2:13 AM 経過期間 4分	テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。
OK 渡辺 11/8/2026 12:50 AM 経過期間 8分	正常に動作することを確認。
OK 吉田 11/7/2026 8:43 AM 担当者 小林	正常に動作することを確認。

パーミッション 2

T3771: マルチモニターシステムでWindowsのすべての機能を整理する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	マニュアル記載	高	11 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新のマニュアルを準備すること。

手順

テストデータの反映

- インポートメニューからテストデータをアプリケーションに反映させる。
- 設定メニューから、デバッグモードをONにして保存する。

テスト実施

1. テスト用文書を開く。
2. テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。
3. 画面を確認し、表記上問題がないか、エクスポートされたデータが正しい情報かを確認する。
4. テスト用文書を削除→復元し、復元されることを確認する。

補足

- この際の画面設定は以下を想定。

```
.pieChart .legendContainer {
    float: left;
    width: 200px;
    height: 180px;
    margin-right: 60px;
}
```

期待する結果

以下の基準を満たすこと。**チェックリスト参照！**

- テスト対象ブラウザーのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと
- 言語設定に準じた言語でメニューが表示されること
- ユーザー個別レイアウトが読み込まれること
- 新規ユーザーにおいてデフォルト設定の画面が崩れずに表示されること

上記の基準を満たさなかった項目はテスト結果にてコメントを残すこと

結果

OK 小林 11/8/2026 1:20 PM 経過期間 7分	正常に動作することを確認。
OK 佐藤 11/7/2026 12:37 PM 経過期間 7分	正常に動作することを確認。

T3772: 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する

テスト ラベル

ステータス	タイプ	優先度	見積り
OK	リグレッション	中	15 分
参照	**自動化種別**		
なし	None		
テスト ケース ラベル			

前提条件

最新バージョンの入力データを用意しておく。

手順

1	プロジェクト選択画面：Sampleを開く。	開くボタンの表示が正しいことを確認する。
2	マニュアル選択画面へ遷移する。	選択肢に表示される文書名が文字化けしていないこと。
3	「文書詳細」から「履歴確認」へ遷移し、過去に修正された文章の内容を参照する。	表示された内容が1つ前のバージョンになっていることを確認する。

結果

コメント

小林
11/8/2026 5:30 PM

テストの際は、その時の **最新バージョン** を用いること。

OK

加藤
11/8/2026 9:43 AM

経過期間
7分

正常に動作することを確認。

OK

吉田
11/6/2026 1:20 AM

担当者
吉田

経過期間
6分

正常に動作することを確認。

さらに 203 個のテストがあります。すべてのテストを表示するには、コンパクト ビューに切り替えます。